



2012年に株式会社川嶋の100%出資会社として設立された株式会社グリーンDreamは、地域に根差した特徴あるゴルフ場の再生事業を中心に、国内で10コース(*1)のゴルフ場を運営している。同社では、ゴルフ場間のシナジー効果を高め、プレイヤーに喜んでもらえるコース提供に努力してきた。そして、ゴルフ場のセキュリティ対策を強化するために、SophosのIntercept XとUTMを導入した。

(*1 : 2022年7月時点)

CUSTOMER-AT-A-GLANCE



株式会社 グリーンDream

株式会社グリーンDream

所在地 静岡県周智郡森町橋576番地3

従業員数 4名(2022年3月末現在)

WEBサイト <http://greendream.jp/>

ソフォスソリューションズ Intercept X、UTM



採用の決め手は、
UTMとエンドポイントが連動して安全性を高める
Synchronized Securityでした。

株式会社グリーンドリーム
業務課 吉田 航氏

北は新潟県から南は沖縄県まで、国内で10コースのゴルフ場を運営する株式会社グリーンドリーム。同社は、1964年に創業された川島グループのゴルフ場ブロックを構成する一社。川島グループのゴルフ場は、それぞれが独立した事業社として、各コースに支配人と代表取締役がいる。株式会社グリーンドリームは、それら法人の運営管理を行うホールディングスカンパニーとなる。「地域の人々に愛されるゴルフ場」を目指してきた同社では、コースの運営や基本的なサービス方針は各ゴルフ場に任せてきた。しかし、情報セキュリティ対策を強化する観点から、SophosのIntercept X

とUTMによるSynchronized Securityの導入を実施した。

ビジネスチャレンジ

「UTMの導入が遅れていたゴルフ場への対策がきっかけ」

株式会社グリーンドリームで情報セキュリティ対策の強化に取り組んできた業務課の吉田 航氏は、その経緯について次のように振り返る。

「当社の基本方針として、ゴルフ場の運営や情報セキュリティ対策は、それぞれのコース

に任せていました。そのため、独自にUTM（統合脅威管理）を導入しているゴルフ場もあれば、エンドポイント・セキュリティ・ソフトのみを導入して対応しているケースもありました。しかし、情報セキュリティ対策は、ゴルフ場ごとではなく包括的に強化していくべきではないか、と考えるようになりました。」

ゴルフ場には、年間で何万人ものプレイヤーが来場する。プレイのチェックインでは、来場者の住所や電話番号に生年月日などの個人情報が記録される。吉田氏は「個人情報の保護だけでなく、増加するサイバー攻撃に対して、ゴルフ場によっては十分な対策

がとられていないという危惧もありました。実際に、エンドポイントのライセンスが失効しているケースもありました。そこで、まずはUTMを導入していなかった7コースに対して、早急に対策を講じる必要があると考えたのです」と説明する。

テクノロジーソリューション

「グループ間で情報を共有してSophos UTMとSynchronized Securityを知る」

2022年3月から情報セキュリティ対策の強化に取り組みはじめた吉田氏は、グループ内で情報を求めた。具体的には「各ゴルフ場でWeb関連の担当者から、どのようなUTMを導入するのが効果的か情報を共有しました。その中で、兵庫県加東市にあるウエストワンズカンツリー倶楽部の担当者から、姫路市にあるIT総合商社のシオタニ株式会社を紹介してもらいました。そのシオタニの担当者から、Sophos UTMを提案してもらったのです」と吉田氏は話す。ソフォス社認定ゴールドパートナーのシオ

タニ株式会社は、同社のホームページにSophos UTMを紹介する専用ページを用意して、電話やオンラインによる無料相談と無料トライアルを提供している。吉田氏は「シオタニの担当者とは、オンラインでミーティングをして資料をもらいました。当初はUTMの導入だけを検討していたのですが、エンドポイント対策のIntercept Xと組み合わせて実現できるSynchronized Securityの効果を聞いて、両製品の採用を前向きに検討するようになりました」と選定の経緯を振り返る。ファイアウォールとエンドポイントセキュリティを同期するSynchronized Securityは、リアルタイムにインテリジェンスを共有して、感染したコンピュータを自動的に隔離するだけでなく、マルウェアを瞬時にクリーンアップして、安全性を高めると同時に管理者の運用負荷を大幅に軽減する。Synchronized Securityの導入に向けて吉田氏は「まずは、シオタニから近い兵庫県のゴルフ場で検証を開始しました。ゴルフ場では予約や顧客台帳を一元管理する運営システムを利用しているので、Sophos

UTMとIntercept Xを導入しても動作に支障がないか、パソコンのスペックは問題ないかなど、約1ヶ月かけて検証してもらいました。その結果、インターネット回線の再整備などの課題を洗い出して解決し、5月の連休明けから導入を開始しました」と話す。

導入の成果

「UTMとエンドポイントのライセンスを5年間に統一してライセンス切れを予防」

Sophos UTMとIntercept Xの導入において、株式会社グリーンDreamでは、5年間の長期契約を結んだ。その理由について、吉田氏は「以前のエンドポイント製品では、1年ごとのライセンス更新を失念し、ゴルフ場によっては期限切れのパソコンを使っている、という問題がありました。そこで、今回はUTMのライセンス期間に合わせてIntercept Xも5年間継続することに決めました。情報セキュリティに詳しい担当者が乏しいゴルフ場でもセキュリティを維持できる体制を築くこ

とができたと思います。」と説明する。また、実際の導入においても「シオタニの担当者が、各ゴルフ場の担当者と緊密に連絡をとっていただき、ゴルフ場の運営にも配慮して設置してもらえたので、導入はスムーズに進みました」と評し「導入後は、クラウド経由で一括して監視してもらえるので、コースが全国にあっても安心です。また、本格的に運用して1ヶ月ほどですが、すでにマルウェアを検知して自動で防御したという報告をもらっています。導入してよかったと実感しています」と成果を話す。

今後の展望

「既存のUTMもSophos UTMに更新し全ゴルフ場で安全性を高めていく」

今後に向けた取り組みについて、吉田氏は「今回は7コースのゴルフ場にSophos UTMとIntercept Xを導入しました。残る3コースは、既存のUTMのライセンスが

残っているので、その期限切れに合わせてSophos UTMへの交換を提案していく計画です」と話し、「情報セキュリティ対策は、サイバー攻撃の被害にあわないと効果を実感できないので、そうならないように、各ゴルフ場には継続してサイバーリスクに対する注意喚起や対策の強化を発信し続けていきたいと思っています。そのためには、サポートや情報提供などの面で、シオタニやソフォスと今後も良好な関係を築いていければと願っています」と展望を語る。

